

## 第4回総合球技場検討委員会 会議録

日 時 平成28年10月7日(金) 午後3時30分～5時16分

場 所 山梨県庁防災新館201会議室

出席者

- ・ 委 員 (50音順)  
足立委員、有賀委員、海野委員、河村委員、小林委員、小宮山委員、  
佐々木委員、佐藤委員、田中委員、野村委員
- ・ 県 側  
吉原総合政策部長、小島総合政策部次長、依田リニア推進課長、  
秋元エネルギー政策課長、望月都市計画課長、赤岡スポーツ健康課長  
(事務局：政策企画課)末木政策企画課長、渡辺政策主幹

会議次第

1. 開会
2. 議事
  - (1) 総合球技場のあるべきすがたについて
  - (2) リニア環境未来都市整備方針について
  - (3) 球技場の建設費、運営収支の概要及び整備・運営手法等について
  - (4) 候補地選定の考え方について
3. 閉会

内 容

1. 開会  
司会：渡辺政策主幹
2. 議事  
議長：委員長
  - (1) 総合球技場のあるべきすがたについて  
議題(1)について、資料1により事務局から説明した後、次のとおり意見交換を行った。  
  
(委員)  
2万人という規模にやみくもに反対だという意味ではないが、2万人規模の妥当性に関し、規模を何ケースかに分けて建設コストや、収益性等から検討することになっていたと思うがいかがか。  
  
(事務局)  
資料2以降の内容で説明があるので、その中であわせて議論いただきたい。

(委員長)

議事の1については、説明のとおりという事ことで良いか。特に問題ないようであれば議事の1についてはご了解いただいたということにさせていただきます。

(2) リニア環境未来都市整備方針について

議題(2)について、資料2-1、2-2により事務局から説明した後、次のとおり意見交換を行った。

(委員)

リニア環境未来都市整備方針の対象範囲は駅から半径4kmという認識で良いか。総合球技場についてもこの範囲内という考え方で良いか。

(事務局)

きっちり4kmではないが、概ね4km程度としている。第一回の委員会でもお示ししているが、基本的に総合球技場もこの範囲内として考えている。

(委員)

リニア環境未来都市の説明の中で、リニア新駅の北側を交通エリア、南側を観光交流産業振興エリアと言っているが、どのような位置になっているのか。

(事務局)

駅周辺のエリアとしては、北側を中央高速道路、南側を環状道路、東側と西側を河川で区切られている。リニア新駅はその中央を東西方向に配置される計画となっている。中央自動車道からスマートICの設置を予定しており、リニア新駅と直結した利便性を高める計画となっている。中央高速道路(スマートICで接続)とリニア新駅では含まれている空間を交通エリア、リニア新駅と環状道路で挟まれている空間を観光交流産業振興エリアとしている。

(委員)

リニア新駅の北側、南側の各エリアの面積はどれほどか。

(事務局)

北側の交通エリアが14万m<sup>2</sup>、南側の観光交流産業振興エリアが10.5万m<sup>2</sup>となっている。

(委員長)

全体図が無いのでわかりにくい部分はあるが、こちらについては、説明のとおりということで良いか。このように総合球技場もリニア環境未来都市に位置づけられているということで、ご確認いただければと思う。特に問題ないようであれば議事の2で説明いただいた内容についてはご了解いただいたということで、議論を進めたいと思う。

(3) 球技場の建設費、運営収支の概要及び整備・運営手法等について

議題(3)について、資料3-1、3-2、3-3、3-4により事務局から説明した後、次のとおり意見交換を行った。

(委員)

資料3-2のデータは、指定管理制度ということであるが、自治体の収支と、指定管理者の収支の合算であるという考え方で良いか。

山梨中銀スタジアムの現状の収支状況を示していただけでないか。公園全体として、また面積相当の額等を参考値として感覚をつかむためにお示しいただきたい。

(事務局)

収支の内容に関しては、ご理解の通りである。

(委員)

まず重要なことは、山梨県としての本事業の大きな目的や、プライオリティを明確にすること。そして、それを実現するために最も適した事業手法を検討・選定すること。民間にどこまで集客を任せたいのか、例えば、サッカー以外については県民利用を優先するなど公的な色彩を強くしてコントロールしたいのか、またはサッカー以外の興業イベント等に関しても民間に存分に誘致・運営させて稼ぐ施設として賑わいを創出したいのか、等々。そして、収益向上等の面で民間が自身のノウハウを活かしてまたそのインセンティブが働くケースであれば、一般的にPPP/PFI等を活用する意義が生まれることになる。

PFIや定期借地といったPPPの一般的なメリットとして、資料に挙げられている点のほかに、周辺エリアマネジメントや余剰地活用、付随的な民間施設整備なども含めて、トータルなまちづくりを民間が複合的に提案できるという点もある。

運営段階の事業手法としては、公共施設等運営権(コンセッション)も、比較検討する一つの手法としてリストアップすべき。先に申し上げたように、最適な手法は、県としての事業目的を明確した上で検討・選択すべきものだが、そもそも最初の段階で、考えられる幅広い手法の1つに運営権が含まれていないことは不自然。現在、文科省でも、スポーツ・文教施設に運営権を活用することに関して検討を進めており、地公体による案件形成のための検討調査を手厚く支援しようという動きにもなっているところ。

吹田スタジアムは、いわゆる「負担付寄付」という手法。これは、寄付金だけで事業費全てを賄わなければならないわけではなく、例えば寄付金で不足する分は県が補填するなどの新しい発想も考えられる。

いくつか指摘した点も含め、資料では、考えられる手法が網羅されていなかったり、各手法毎のメリット/デメリットなどにミスリードな点や不足する点も複数あるため、まず最初の段階で各手法の理解を適切に行う観点からすると、少し修正が必要と史料。

スタジアムは、インシャル/ランニングとともに持ち出しになることが多い施設。プロジェクトのライフサイクルコストや、それが県の財政全体に与えるインパクトをしっかりと把握し、また、県の思いや優先順位、定量・定性面のコスト対効果などをしっかりとふまえた上で、最適な事業手法を検討・選定するべきであろう。

(事務局)

ご指摘いただいた事項を含め、今後の検討の参考にさせていただく。

(委員長)

本事業の目的を整理することが重要である、そこから考えていただき、それにあった事業手法を考えていただきたい。長期的な計画を含めた逆算も検討する必要がある

という指摘にはぜひご対応いただきたい。

事業手法に関しては、資料4の建設候補地の内容も関連するため、先に事務局から資料4を説明いただき、その後合わせて協議を行うこととしたい。

#### (4) 候補地選定の考え方について

議題(4)について、資料4-1、4-2により事務局から説明した後、次のとおり意見交換を行った。

#### (委員)

北九州は玄界灘に面したスタジアム、南長野はアルプスの見えるスタジアムなど、独自のスタジアムが整備されてきている。山梨ならではのスタジアムとして、地域の特色を出すべきだと考える。山梨の強みを活かすといった意味では、リニア新駅の周辺は山梨の強みだと考えられ、特にリニア新駅とドッキングしたスタジアム、つまりペDESTリアンデッキで駅直結するくらいのスタジアムが良いのではないかと。首都圏から15分から20分と近く、国内外のスポーツの交流やイベントも可能になり、このようなスタジアムを他で作ろうと思ってもできないと考えられる。リニアは東海道に変わる日本の大動脈となり、ネーミングライツの額も大幅に違ってくる。リニア新駅の横にスタジアムが配置されれば、素晴らしいことだと個人的に考えている。

リニア新駅横の配置だと、駐車場の問題が考えられる。現状のJリーグの試合運営状況では、小瀬の第1から第6までの県営駐車場2187台、周辺の臨時駐車場として環境センターや市立病院等で約1000台の合計3000台強の駐車場を用意している。それに対し、リニア新駅直結スタジアムとした場合、2000台程度が整備されるとして、近隣のアイメッセの駐車場約1200台、NECなど7社程度の工業団地の駐車場スペース、新駅予定地から西側300mにある環状道路高架下空間などの利用などの工夫により、駐車台数は現状以上に確保できるのではないかと考えられる。また、それでも足りない場合は、ピストン輸送も可能であると考えられ、駐車場に関しては、なんら問題はないと考えられる。また、交通量に関しては、基本的にどこにスタジアムを建設しても、試合直後1時間くらいはある程度渋滞が起こることは明らかであり、どう緩めるかという点が重要になる。小瀬は交通が東西南北方向に逃げられるという利点がある、リニア新駅直結に関しても同様に東西南北方向に逃げられる地理条件となっている。ただしリニア利用者の駐車場の確保をどうするかは検討が必要である。

小瀬の南側にスタジアムを整備することも考えられるが、それでは単なるスタジアムになってしまう。ところがリニア新駅直結となると、インパクトも価値も全く違ってくる。スタジアムの中に、リニア環境未来都市の中間報告で記載されている観光交流機能などを入れ込んでしまうこともできる。リニアの開通は中央高速道路の開通以上の影響があると考えられ、先日経済4団体と知事との懇談会でも、団体からは、リニアの近くに整備してくれという話になったときいている。リニアの駅、即スタジアムを検討いただきたい。

#### (委員)

リニア新駅直結のスタジアム整備となるとワクワクする感じがする。整備費用や予算等に関しては明らかにして欲しい。

#### (委員)

資料2-2の県議会議員の方々からの意見内容に関して、内容は理解できたが、な

ぜそういった結論に至ったかといった理由が分からない部分があった。

運営手法に関しては、専門的な内容となるため、事務局と専門家でもう少しつめたものを検討いただきたい。スタジアムは儲からないという観点から、鹿島サッカースタジアムのように、民間が本当に投資するのかは検討する必要がある。

立地の条件に関しては、駐車場の議論としては観戦者あるいは競技者の視点に加え、日常生活に係る住民視点も入れて検討いただきたい。

また、県民に理解が得られる投資といった点についても、重要であると考えられる。

(委員)

整備の目的をはっきりすることが運営手法の検討等には必要だと思う。

スタジアムの整備時期をもう少し急いでもらいたい。リニア開業に頼りすぎといった印象である。リニアとは関係なくとも競技・スポーツ施設として成立するよう検討すべきではないかと考える。

県民はリニア駅前にできると考えている人も多く、リニア駅前に整備出来ればそれが一番良いとは思いますが、もう少し踏み込んだ検討が必要ではないか。リニア環境未来都市の計画では、パーク&ライド駐車場が計画されているが、これは利用できるのか等の検討が必要と考えられる。

(事務局)

リニア開業に合わせて、スタジアムを整備するわけではなく、できるだけ早く整備するという意味合いで記載している。

リニア未来環境都市に関しては、本委員会との計画をあわせて、足並みを揃えて県一体となって検討に取り組んでいきたいと考えている。

(委員)

示していただいたようなスタジアムの事例は様々あるが、こういった既成事実に無いようなことをどんどんやっていかなければならないのではないかと。事業手法もそうであるが、ピッチとメインスタンドは公共が所有し、バックとサイドスタンド等は民間が所有するといったような区分所有等も含めて、過去にないような手法についても研究していただきたい。

現状のリニア環境未来都市の計画の絵を見た印象では夢が無く、どこにでもある計画に見える。現状考えられている機能は全てスタジアムに入るものであり、スタジアムを一つのコンテンツとして、他県には無いもの、夢のある計画としていかなければならないのではないかとという印象である。

カシマは医療過疎であったことから医療に取り組んだが、山梨では山梨の新しいこと、これまでにないことに向かっていくのがこの委員会だと考えている。駅中スタジアムという発想にもしびれたが、もっともっと新しいことを皆で考えていくべきだと思う。

(委員)

県の目的から運営手法、資金、候補地等を選ぶことが出来ると思う。検討においては、意思決定の材料となるような資料を作成いただきたい。総合的に判断するような検討はなかなか難しいかもしれないが、整備額が大きい話であり、将来的に県民負担になる可能性もあるので、多面的に複数ケースを想定して検討して欲しい。

(委員)

リニア環境未来都市は、ゾーン分けはしているのか、スタジアムはどこに属して  
くるのか。商業施設や、オフィスなどスタジアムに持たせる附帯機能によって、配置の  
考え方も異なってくると考えられる。

(委員長)

立地に関しての条件として、県内からのアクセスが多いという点からも地域内のア  
クセスについても、考慮いただきたい。建設費に関しては、座席と整備費に関しては、  
明確な関係がわからないといったところで、より詳細に検討する段階で決まるかと思  
う。関連して、地盤条件も整備費に大きく影響すると考えられるため、その点含め検  
討いただきたい。

さらに防災拠点としての役割も求められているので、それも立地検討の視点として  
考えていただきたい。

(委員)

先ほどもお話したが、なるべく最短で早く整備いただきたい。リニアの駅に関係な  
く、結果リニアの駅につながるという考え方で進めていただきたい。

(委員長)

資料における表現として、条件の整備時期の記載表現は整理いただきたい。

委員のみなさまからいただいた意見の中で、このスタジアムがどういった位置づけ  
かといった、「あるべき姿」が確定すれば、手法や立地を含め、どうあるべきかが検討  
できると考えられる。また、立地の話として、リニア環境未来都市との整合性をどの  
ように図るのかも課題となる。リニア新駅前であり、商業、工業等も立地を希望する  
ことが考えられることから、調整が必要になると考えられる。早期実現に向けた視点  
も含め今後さらに議論を深めていきたいと考える。

ご意見のあった夢のあるスタジアムの整備に向けて、候補地検討については、事務  
局のほうで検討を行なっていただき、次回については候補地について、条件にあった  
場所を提示いただくということをお願いしたい。

その他ご意見無ければ、事務局から連絡等おねがいしたい。

(事務局)

事務局としては、県民のみなさまの意見も今後取り入れながら検討を進めていき  
たいと考えている。今月下旬に、意見を聞く会を実施予定である。

次回の第5回委員会は11月中下旬の予定している。日にちは未定のため、日程調  
整の方を委員の皆様にはお願いしたい。

3. 閉会

司会：渡辺政策主幹